

## 新規採用常備医薬品等のお知らせ

令和6年3月15日に開催された薬事委員会において、別紙のとおり、新規採用医薬品、削除医薬品の各品目が承認されました。

令和6年4月10日(水)からオーダー開始しました。

## 『メトクロプラミド錠 5 mg「タカタ」』の供給状況について

消化器機能調整剤『メトクロプラミド錠 5 mg「タカタ」』につきまして、他社製品の同種同効薬の供給制限等の影響を受けて需要が増加し、安定供給が厳しい状況です。

本件を受け、当院においては購入できる限り処方オーダーを継続していますが、他社製剤を含め安定供給可能品が見つからず、院内在庫がなくなり次第、院内処方オーダーを一時停止せざるを得ない状況となりました。

そのため、可能な場合は他の薬剤への切替や、漫然とした使用を避け、必要最小限の処方をお願いします。状況によりましては、薬剤部から処方変更をお願いする場合があります。ご協力よろしくをお願いします。

今後の供給状況につきましては分かり次第、連絡いたします。

## 院内製剤「キシロカイン点眼液 4%(20 mL)」分注量の変更のお知らせ

表面麻酔剤『キシロカイン点眼液 4%』につきまして、製造ラインにおいて逸脱が発生したため、製造所における生産が一時停止しました。現在は製造が再開されておりますが、在庫些少となっており、厳しい入荷状況が継続しております。

このような状況の中、入荷できる限り処方オーダーを継続するため、これまで「キシロカイン 4% (20 mL)」の分注量を5mLとしておりましたが、4/24より2.5mLに減量して払い出しを行います。

医薬品を継続的に使用できるよう、ご協力よろしくをお願いします。

## 「カロナール細粒 20%」院内オーダー再開のお知らせ

解熱鎮痛剤「カロナール細粒 20%」につきまして、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の影響により、想定を超える需要の継続から、全国的に安定供給が厳しい状況が続いており、当院においても院内在庫が欠品する状況となったため、1月5日より院内処方オーダーを一時停止しておりました(※院外処方可能)。

この度、本剤の供給量が回復したことから、4月10日より本剤の院内処方オーダーを再開し、カロナール錠500の粉碎化・小数入力を停止しました。

## 『ジピリダモール錠 25 mg「日医工」』オーダー停止のお知らせ

冠循環改善剤・抗血小板剤『ジピリダモール錠 25 mg「日医工」』につきまして、在庫消尽をもって販売中止となりました。そのため、当院在庫も欠品となったことから、3月14日より処方オーダーを停止しました。

なお、当該薬剤の代替薬として3月14日より『ジピリダモール錠 25 mg「トーワ」』の処方オーダーを開始しました。

## 『炭酸リチウム錠 100、200「ヨシトミ」』オーダ停止のお知らせ

躁病・躁状態治療剤『炭酸リチウム錠 100、200「ヨシトミ」』につきまして、諸般の事情により、販売中止となりました。そのため、当院在庫が欠品となったことから、3月14日より処方オーダを停止しました。

なお、当該薬剤の代替薬として3月14日より『炭酸リチウム錠 100mg、200mg「大正」』の処方オーダを開始しました。

## 「コムタン錠 100 mg」自主回収のお知らせ

パーキンソン病治療薬（末梢 COMT 阻害剤）「コムタン錠 100 mg」につきまして、一部ロットにおいて社内基準値を超える N-ニトロソジェチルアミンが検出されたことから、該当ロットを自主回収することとなりました。

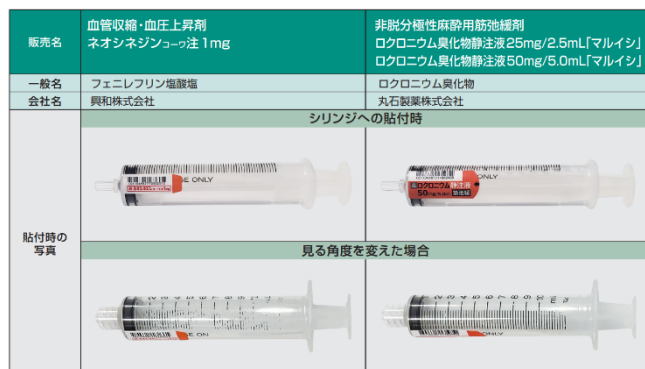
当院において、該当ロット製品はすでに使用済みですが、本件に起因すると考えられる有効性の欠如、及び副作用発現の報告はありません。

## 包装表示類似による取り違え防止のお願い

血管収縮・血圧上昇剤「ネオシネジンコーワ注 1 mg」と非脱分極性麻酔用筋弛緩剤『ロクロニウム臭化物静注液 25 mg/2.5 mL、50 mg/5.0 mL「マルイシ」』において取り違えが発生したとの報告がありました。

今回の事象は、副片ラベル（分割ラベル）をシリンジに貼付した際に、角度によって色調・外観が類似していることが原因となります（興和品のラベルは2023年12月6日出荷分より変更）。そのため、今回の件を受け、ネオシネジンコーワ注 1 mg のラベルが変更されることとなりました。

しかし、新ラベル品が出荷されるまでには時間を要することから、使用の際には、今一度製品名を確認するようご注意ください。



## 販売中止のお知らせ

### ◎タペンタ錠 25 mg（一般名：タペンタドール塩酸塩）＜持続性がん疼痛治療剤＞

販売中止予定時期：在庫消尽を持って販売中止 経過措置期間満了日：2025年3月31日（予定）

### ◎ジフルカン静注液 200 mg（一般名：フルコナゾール）＜深在性真菌症治療剤＞※臨時採用医薬品

販売中止予定時期：2025年1月 経過措置期間満了日：2025年3月31日

### ◎ネリゾナユニバーサルクリーム 0.1% 5 g（一般名：ジフルコルトロン吉草酸エステル）＜外用合成副腎皮質ホルモン剤＞

販売中止予定時期：2024年6月30日 経過措置期間満了日：一部包装のみ販売中止のため、なし

## 限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

- ◎アルプロスタジル注10  $\mu$ gシリンジ「科研」(一般名:アルプロスタジル)＜プロスタグランジンE1製剤＞  
◎ジェブタナ点滴静注60 mg(一般名:カバジタキセル アセトン付加物)＜抗悪性腫瘍剤＞  
出荷量: C 出荷停止 製造販売業者の対応: ⑤供給停止
- ◎オクトレオチド酢酸塩皮下注100  $\mu$ g「サンド」(一般名:オクトレオチド酢酸塩)＜持続性ソマトスタチンアナログ製剤＞  
出荷量: C 出荷停止 製造販売業者の対応: ②限定出荷(自社の事情)
- ◎ダカルバジン注用100(一般名:ダカルバジン)＜抗悪性腫瘍剤＞  
◎キシロカイン点眼液4%(一般名:リドカイン塩酸塩)＜表面麻酔剤＞  
◎キシロカイン注射液「2%」エピレナミン(1:80,000)含有(一般名:リドカイン塩酸塩、アドレナリン)＜局所麻酔剤＞  
◎イリノテカン塩酸塩点滴静注液40 mg、100 mg「SUN」(一般名:イリノテカン塩酸塩水和物)＜抗悪性腫瘍剤＞  
◎ミカファンギンNa点滴静注用50 mg「ニプロ」(一般名:ミカファンギンナトリウム)＜キャンディン系抗真菌剤＞  
◎フルメロン点眼液0.1%(一般名:フルオロメロン)＜抗炎症ステロイド水性懸濁点眼剤＞  
◎ツムラ当帰芍薬散エキス顆粒(医療用)＜漢方製剤＞※標準包装(189包)  
◎ツムラ桂枝茯苓丸エキス顆粒(医療用)＜漢方製剤＞※標準包装(189包)  
◎ツムラ抑肝散エキス顆粒(医療用)＜漢方製剤＞※標準包装(189包)  
◎ツムラ五苓散エキス顆粒(医療用)＜漢方製剤＞  
出荷量: B 出荷量減少 製造販売業者の対応: ②限定出荷(自社の事情)
- ◎シングレア細粒4 mg(一般名:モンテルカストナトリウム)＜気管支喘息治療薬＞  
◎シングレアチュアブル錠5 mg(一般名:モンテルカストナトリウム)＜気管支喘息治療薬＞  
出荷量: B 出荷量減少 製造販売業者の対応: ③限定出荷(他社品の影響)
- ◎ヒアレインミニ点眼液0.3%(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム)＜角結膜上皮障害治療用点眼剤＞  
出荷量: B 出荷量減少 製造販売業者の対応: ④限定出荷(その他)
- ◎オクトレオチド酢酸塩皮下注50  $\mu$ g「サンド」(一般名:オクトレオチド酢酸塩)＜持続性ソマトスタチンアナログ製剤＞  
出荷量: A 出荷量通常 製造販売業者の対応: ②限定出荷(自社の事情)
- ◎タガメット錠200 mg(一般名:シメチジン)＜H2受容体拮抗剤＞  
出荷量: A 出荷量通常 製造販売業者の対応: ③限定出荷(他社品の影響)
- ◎ヒアレインミニ点眼液0.1%(一般名:精製ヒアルロン酸ナトリウム)＜角結膜上皮障害治療用点眼剤＞  
出荷量: A 出荷量通常 製造販売業者の対応: ④限定出荷(その他)

### 【参考情報】

日薬連発第137号『「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて』の定義に基づく

## 限定出荷解除のお知らせ

- ◎クレセンバカプセル100 mg(一般名:イサブコナゾニウム硫酸塩)＜深在性真菌症治療剤＞※緊急使用医薬品  
2024年4月1日より限定出荷解除

## 効能・効果、用法・用量等追加・改訂のお知らせ

※追加・改訂部抜粋

- ◎シナジス筋注液50 mg、100 mg(一般名:パリビズマブ(遺伝子組換え))<抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体製剤>  
【効能・効果】下記の新生児、乳児および幼児におけるRSウイルス (Respiratory Syncytial Virus) 感染による重篤な下気道疾患の発症抑制  
RSウイルス感染流行初期において  
○24ヵ月齢以下の肺低形成を伴う新生児、乳児および幼児  
○24ヵ月齢以下の気道狭窄を伴う新生児、乳児および幼児  
○24ヵ月齢以下の先天性食道閉鎖症の新生児、乳児および幼児  
○24ヵ月齢以下の先天代謝異常症の新生児、乳児および幼児  
○24ヵ月齢以下の神経筋疾患の新生児、乳児および幼児
- ◎フィンテプラ内用液2.2 mg/mL(一般名:フェンフルラミン塩酸塩)<抗てんかん剤>※臨時採用医薬品  
【効能・効果】Lennox-Gastaut症候群  
【用法・用量】通常、成人及び2歳以上の小児には、フェンフルラミンとして1日0.2 mg/kgを開始用量として1日2回に分けて経口投与し、患者の状態に応じて、1週間以上の間隔をあけて1日0.7 mg/kgまで増量できる。1日用量として26 mgを超えないこと。
- ◎バビースモ硝子体内注射液120 mg/mL(一般名:ファリシマブ(遺伝子組換え))<眼科用VEGF/Ang-2阻害剤>  
【効能・効果】網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫  
【用法・用量】ファリシマブ (遺伝子組換え) として1回あたり6.0 mg (0.05 mL)を硝子体内投与する。投与間隔は、4週以上あけること。
- ◎ウィフガート点滴静注400 mg (一般名:エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え))<抗FcRn抗体フラグメント製剤>  
【効能・効果】慢性特発性血小板減少性紫斑病  
【用法・用量】通常、成人にはエフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)として1回10 mg/kgを週1回又は2週に1回1時間かけて点滴静注する。週1回投与で開始し、投与開始後4週以降は血小板数及び臨床症状に基づき2週に1回投与に調節することができる。
- ◎オルミエント錠4 mg、2 mg (一般名:バリシチニブ)<ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤>  
【効能・効果】アトピー性皮膚炎 ※2歳以上の小児に対する適応追加  
多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎  
【用法・用量】通常、2歳以上の患者には体重に応じバリシチニブとして以下の投与量を1日1回経口投与する。  
・30 kg以上:通常、4 mgとし、患者の状態に応じて2 mgに減量すること。  
・30 kg未満:通常、2 mgとし、患者の状態に応じて1 mgに減量すること。
- ◎ファセンラ皮下注30 mgシリンジ (一般名:ベンラリズマブ(遺伝子組換え))<気管支喘息治療剤>  
【効能・効果】気管支喘息 (既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)  
※12歳以上の小児及び体重35 kg以上の6歳以上12歳未満の小児に対する適応追加
- ◎ルミセフ皮下注210 mgシリンジ (一般名:プロダルマブ(遺伝子組換え))  
<ヒト型抗ヒトIL-17受容体Aモノクローナル抗体製剤>  
【効能・効果】乾癬性関節炎 ※「関節症性乾癬」を削除

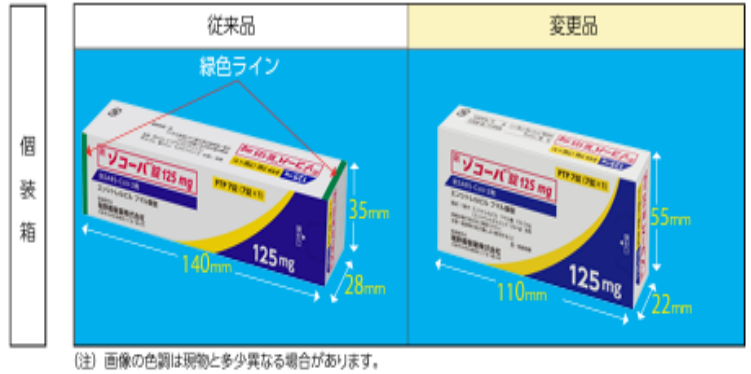
## 経過措置期間延長のお知らせ

下記薬剤について、2023年8月29日付け官報告示にて経過措置期間満了日が2024年3月31日となり、「薬価基準経過措置期間の延長願」が申請されていました。この度、経過措置期間満了日が下記の通り延長されました。

- ◎TRH 注 0.5 mg「タナベ」(一般名:プロチレリン)<TSH・プロラクチン分泌ホルモン剤>  
◎グリメピリド錠 3 mg「タナベ」(一般名:グリメピリド)<スルホニルウレア系経口血糖降下剤>※院外専用医薬品  
◎ドネペジル塩酸塩 OD 錠 5 mg「タナベ」(一般名:ドネペジル塩酸塩)<アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤>  
経過措置期間満了日:2024年9月30日

# 包装変更等のお知らせ

◎ゾコーバ錠 125 mg(一般名:エンシトレルビル フマル酸)＜抗 SARS-CoV-2 剤＞ ※特例承認等医薬品  
1人分包装品について、錠剤の形状、PTPシートや個装箱のデザイン・サイズ等を変更



◎リピオドール 480 注 10 mL(一般名:ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステル)  
＜リンパ系・子宮卵管造影剤 医薬品又は医療機器の調製用剤＞  
ラベル・個装箱の表記及び色・デザイン等を変更



◎ガドテル酸メグルミン静注 38%シリンジ 10 mL「GE」(一般名:ガドテル酸メグルミン)＜環状型 MRI 用造影剤＞  
キャップ形状・シリンジデザイン、個装箱形状・表示デザイン等を変更  
ガスケットの色を黒色から灰色に変更



## 一包化された薬剤の中止時はご注意ください

薬剤の中止指示により一包化から除去する場合は、病院情報システム内の『薬品情報検索』を利用して除去すべき薬剤を十分確認し、薬剤の取り違えに注意してください。

# 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 407

★患者会との連携による情報提供資料の作成について（PMDA の取組）

PMDAでは、ホームページ、メディアナビ配信サービス等を用いて、医薬品の安全性に関する情報提供をしている。患者の皆様への適切な情報提供や効率的な情報収集の課題解決に向けて、「日本ライソゾーム病患者家族会協議会」とPMDAにおいて試行的に開始した、医薬品に関する情報提供の取り組みを紹介する。

★トピラマートの使用上の注意改訂について

トピラマートは、「他の抗てんかん薬で十分な効果が認められないてんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む）に対する抗てんかん薬との併用療法」を効能又は効果とする医薬品であり、2007年9月より製造販売が開始されている。今般、妊娠中にトピラマートを投与された患者より出生した児における神経発達症の発症の可能性について、専門家の意見を含めた調査の結果、安全対策措置が必要と判断し、厚生労働省は、製造販売業者に対して、令和6年2月15日に使用上の注意の改訂を指示したので、その検討内容等について紹介する。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<https://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<https://www.mhlw.go.jp/>）から確認可能。

☆Drug Safety Update No. 325 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容						
アンテキサネットアルファ（遺伝子組換え）（オンテキサ静注用）※救急用医薬品	<p>※重要な基本的注意:追記  <u>ヘパリン抵抗性を示すことがあるので、ヘパリンによる抗凝固が必要な手術・処置の状況下で本剤を投与するにあたっては、本剤投与の要否を慎重に判断すること。周術期に本剤を使用し、ヘパリン抵抗性を示す症例が国内外で報告されている。その中には、ヘパリンの抗凝固作用が十分に得られず、人工心肺回路が血栓で閉塞し、重篤な転帰に至った症例も認められる。</u></p> <p>※併用注意:新設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未分画ヘパリン（ヘパリンナトリウム、ヘパリンカルシウム）、低分子ヘパリン（エキサパリンナトリウム、ダルテパリンナトリウム、ハルパリンナトリウム）</td> <td>ヘパリンの抗凝固作用が減弱し、ヘパリン抵抗性を示すことがある。</td> <td>In vitroデータから、本剤がヘパリン-アンチトロンビソⅢ複合体に作用し、ヘパリンの抗凝固作用を減弱させることが示唆されている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※臨床使用に基づく情報:削除            本剤はヘパリンの抗凝固作用を阻害する可能性がある。手術前の本剤投与により手術中のヘパリン抵抗性を示した症例が海外にて報告されている。</p>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	未分画ヘパリン（ヘパリンナトリウム、ヘパリンカルシウム）、低分子ヘパリン（エキサパリンナトリウム、ダルテパリンナトリウム、ハルパリンナトリウム）	ヘパリンの抗凝固作用が減弱し、ヘパリン抵抗性を示すことがある。	In vitroデータから、本剤がヘパリン-アンチトロンビソⅢ複合体に作用し、ヘパリンの抗凝固作用を減弱させることが示唆されている。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
未分画ヘパリン（ヘパリンナトリウム、ヘパリンカルシウム）、低分子ヘパリン（エキサパリンナトリウム、ダルテパリンナトリウム、ハルパリンナトリウム）	ヘパリンの抗凝固作用が減弱し、ヘパリン抵抗性を示すことがある。	In vitroデータから、本剤がヘパリン-アンチトロンビソⅢ複合体に作用し、ヘパリンの抗凝固作用を減弱させることが示唆されている。					



<別紙1>新規採用医薬品・削除医薬品等一覧

【1】新規採用依頼医薬品

①常備医薬品(合計7品目)

2024年4月10日オーダ開始予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
1	イオパミド注150 721	静注	200mL	-	3498.0	ハエル薬品	Iopamidol 非イオン性尿路・血管造影剤 ★造影CT検査における病変の検出と診断 ★現在使用中の非イオン性尿路・血管造影剤が2024年3月に経過措置満了となるが、本剤は現在使用する薬剤と濃度・用量が最も近いことで、使用目的を達成できる。 ★CTにおけるイオパミドール150mg/mLの造影効果、副作用、有用性とイオキシール140mg/mLを比較した多施設共同比較対照試験において、患者100例(各群50例)にて両群に差は認められない。 ★現在使用中の薬剤に比べて低薬価(4111.0)であり、患者負担・購入予算の軽減となる。 【発売:1992年5月6日】
1	イクフィ錠 116	錠	50mg	劇	886.7	イーザイ	Safinamide Mesilate パーキンソン病治療剤(MAO-B阻害薬) ★レボトパ含有製剤での治療中のパーキンソン病におけるwearing off現象の改善 ★本剤はレボトパ含有製剤の投与量又は投与回数の調節を行ってもwearing off現象が認められる患者に対して使用する。MAO-B阻害薬の中では唯一Naチャネル阻害作用を併せ持つことから、パーキンソン病の運動症状に加え、非運動症状への効果が期待される。また、MAO-B選択性の高さからチアミン薬物相互作用が無いことが臨床データで示されており、血圧に影響を及ぼすリスクが少ない薬剤である。上記理由から他剤で効果不十分な患者で効果発現を期待でき、血圧の変動をきたしやすいパーキンソン病において、そのリスクを増加させないため、本剤の院内採用を申請する。 ※院外専用から常備へ 【発売:2019年11月20日】
1	ケンプラン吸入粉末溶解用 729	吸入	100mg	劇	7514.9	参天製薬	Methacholine Chloride 気道過敏性検査薬(コリン作動薬) ★気道過敏性検査の検査薬 ★臨床現場で気管支喘息の確定診断、また重症度の判定や治療効果の判定を行う際に、気道過敏性検査が用いられる。本剤は気道過敏性検査専用の気管支収縮薬であり、気道過敏性検査のみの使用する。当院において気道過敏性検査を開始するにあたり、本検査薬の使用が必要である。 【発売:2016年5月10日】
1	レムボレキ錠 119	錠	2.5mg	-	53.7	イーザイ	Lemborexant 不眠症治療薬 ★不眠症が適応である。通常は5mgを使用するが、①翌日への持ち越しが目立つ場合、②CYP3Aを中等度または強力に阻害する薬を併用している場合は、2.5mgを使用する。 ★一般病棟における不眠症フローチャートにおいて、CYP3Aを中等度または強力に阻害する薬を併用している場合は、ファーストチョイスとしてレムボレキ2.5mgを指定した。 ★レムボレキは従来のベンゾジアゼピン系睡眠薬に比べると副作用が少なく、高齢者にも安全に投与できる。 ※院外専用から常備へ ※5mgは常備、10mgは院外専用で採用あり 【発売:2020年7月6日】
1	リスティゴ皮下注 639	皮下注	280mg	劇	356392.0	ユーシーピージェ パン	Rozanolixizumab(Genetical Recombination) ★難治性の全身型重症筋無力症に対する治療(抗FcRnモノクローナル抗体製剤) ★全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏功しない場合に限る)に適応を有し、血液浄化療法または、免疫グロブリン静注療法を行う前に使用できる。 ★抗AChR抗体及び抗MuSK抗体を問わず使用可能である。 ★侵襲性が低い皮下投与製剤であり患者の負担軽減が期待できる。 ★投与方法は、1週間間隔で6回皮下注射を行いこれを1サイクルとして投与を繰り返す、であるが体重<50kgの場合は1回1バイアル使用し、≥50kg~<70kg及び≥70kg~<100kgの場合は2バイアルを使用するとなっており、本剤の平均年間サイクル数4回で計算すると1年の薬価はそれぞれ8,553,408円及び17,106,816円となる。既存薬と比較して経済性に優れた可能性がある。 【発売:2020年7月28日】
1	レクビオ皮下注シリンジ 218	皮下注	300mg	-	443548.0	ノバルティス	Inclisiran Sodium 持続型LDLコレステロール低下siRNA製剤 ★スタチン最大耐用量治療下で効果不十分又はスタチンによる治療が適さないハイリスク高コレステロール血症患者、FH患者の管理目標値へのコントロールのため。 ★新規作用機序:持続型LDLコレステロール低下siRNA製剤(PCSK9産生阻害薬)。 ★投与は初回、3ヶ月、以降6ヶ月に1回であり、患者の投与頻度の負担軽減や病院での皮下注射実施により患者の服薬遵守率に依存しない医療従事者による確実性の高い投与が期待できる。 【発売:2023年11月22日】

1	レケンビ点滴静注 119	静注	200mg	劇	45777.0	イーザイ	Lecanemab(Genetical Recombination) アルツハイマー病治療薬(ヒト抗可溶性アミロイドβ凝集体モノクローナル抗体) ★アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制の適応症 ★従来の抗AD薬ではアルツハイマー型認知症を発症した後の治療選択肢のみであったが、本剤はアルツハイマー病における軽度認知症に加えて、その前段階である軽度認知障害(MCI)を治療対象とする唯一の薬剤である。 ★従来の抗AD薬は対症療法であったことに対して、本剤は認知症の発症要因の一つと言われているアミロイドβを減少させる作用を持つ。 ★従来の抗AD薬は一時的な認知機能スコアの改善の後、プラセボと並行して認知機能が低下する事に比べ、本剤においては認知機能スコアにおけるプラセボとの差が経時的に広がっていくことが特徴である。 ★MCIに対して唯一の適応を持ち、新規作用機序から従来薬と異なる効果を発揮することが期待される。 【発売:2023年12月20日】
---	-----------------	----	-------	---	---------	------	---

②救急用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
2	エシユラト錠 625	錠	25mg	劇 ハイリスク	2,128.5	ヤンセンファーマ	Rilpivirine Hydrochloride 抗ウイルス化学療法剤 ★HIVの職業的曝露において、被曝者が活動性肝炎に罹患している場合の予防内服 ★当院における職業感染対策マニュアルにおいて、HIVの職業的曝露者が活動性B型肝炎に罹患していた場合は、抗HBV効果のない抗HIV薬を選択することとなり、エシユラト錠を使用することとなっている。また、マニュアルにおいて事故発生からできるだけ速やかに(2時間以内)に初回内服することとなっている。 ※臨時採用から救急用へ 【発売:2012年6月8日】
2	メグルターゼ静注用 392	静注	1000U	劇	2,674,400.0	大原薬品工業	Glucarpidase(Genetical Recombination) メトトレキサート・ロイコボリン救急療法によるメトトレキサート排泄遅延時の解毒に使用 ★大量メトトレキサート療法を実施する患者が、メトトレキサートの排泄が遅延する可能性がある。 ★本剤はメトトレキサートを分解でき、メトトレキサートによる様々な組織障害を防ぐ効果が期待できる。 ※緊急使用医薬品として申請あり 【発売:2024年1月4日】

⑥臨時採用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
6	ワイアレブ配合持続皮下注 116	皮下注	ホスレボトパ 2400mg ホスカルビトパ 120mg	-	13,277.0	アツハイ合同会社	Foslevodopa, Foscarbidopa Hydrate 抗パーキンソン剤 ★内服加療を継続していたが、運動症状の日内変動が強く、内服薬によるコントロールが困難な患者に使用。 ★院内採用の持続投与製剤は経腸用製剤であり、侵襲を伴う。持続皮下注射可能な同効薬が新しく上市され、侵襲性が低く、患者の希望もある。 ※緊急使用医薬品として購入歴あり 【発売:2023年7月26日】
6	セオマイン筋注用 122	筋注	50U	毒	17,575.0	帝人ファーマ	IncobotulinumtoxinA 上下肢痙縮治療薬(A型ボツリス毒素製剤) ★ボツリス製剤治療において、セオマインでの治療は患者の薬剤費負担の軽減に寄与する。手指関節・母指関節関連筋等比較的小さな筋に投与する際には細かい用量調節が必要となるため、セオマイン50単位規格での治療が望ましい。 ★神経毒素のみを有効成分とすることで中和抗体産生及び二次無効の可能性の低減。 ※200mgが臨時採用薬で採用あり 【発売:2020年12月4日】

⑦院外専用医薬品(合計7品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効
7	アリセプト錠 119	錠	10mg	劇	215.2	イーザイ	Donepezil Hydrochloride アルツハイマー型、レビー小体型認知症治療剤 ★レケンビ点滴静注200mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:2007年12月26日】
7	キックリンカプセル 219	cap	250mg	-	22.4	アステラス製薬	Bixalomer 高リン血症治療剤(リン酸結合性ポリマー) ★レキオ皮下注300mg/シリンジ採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:2012年6月26日】
7	ニュープロパッチ 116	パッチ	9mg	劇	531.9	大塚製薬	Rotigotine ドパミン作動性パーキンソン病治療剤 レストレスレックス症候群治療剤 ★エクイフェ錠50mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:2013年2月26日】
7	ハルモティアXR錠 218	XR錠	0.2mg	-	61.3	興和	Pemafibrate 高脂血症治療剤(フィブラート系) ★高脂血症患者に対する、高中性脂肪血症のコントロール ★従来のハルモティア錠0.1mg1日2回製剤に比べ、1日1回投与のハルモティアXR錠0.2mg、0.4mgにすることで、アドヒアランスの向上が期待できる。薬価も従来品の1日薬



7			0.4mg	-	113.4		価66.2円から61.3円(0.2mg)、124.8円から113.4円(0.4mg)になるため、患者負担の軽減に繋がる。 ※ハルモティア錠10mg(1日2回製剤)が常備として採用あり 【発売:2023年11月27日】
7	メプチン錠25μg 225	錠	25μg	-	10.5	大塚製薬	Procaterol Hydrochloride Hydrate 気管支拡張剤(β <sub>2</sub> 受容体刺激薬) ★ケンブラン吸入粉末溶解用100mg採用にあたって、常備医薬品から院外専用医薬品に変更 【発売:1984年6月15日】
7	レギュニールHCa 2.5腹膜透析液 UVツインバッグ 342	腹膜透析液	2.5% 1.5L	-	1,325.0	バクスター	腹膜透析用剤 ★常備医薬品の1.5%濃度の透析液では除水不良。 ★腹膜透析患者では腹膜の性質より長期に透析を行うと徐々に除水不良になることがある。その場合には透析液の糖の濃度を上げて除水する必要がある。 【発売:2014年2月14日】

【2】新薬申請時に挙げられた削除可能医薬品(合計3品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	オムニパーク140注バイアル 721	注射	220mL	-	イオパミロン注150 200mL採用の場合、削除
1	ナーブブロック 122	筋注	2500U	毒	リスティーゴ皮下注280mg採用の場合、削除
1	ハリエト 231	錠	10mg	-	テエビゴ錠2.5mg採用の場合、削除

※削除可能医薬品は、次回薬事委員会までに全診療科に確認を行い、診療、治療上問題のない場合、次回薬事委員会の承認を経て、削除します。  
ただし、治療に問題のある場合は、削除可能医薬品の変更等の手続きが必要となります。

【3】削除医薬品(合計24品目)

2024年4月10日に削除または移行予定

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	削除理由
1	アジレット錠 116	錠	0.5mg	劇	ランカト内用懸濁液2.1%50mL採用のため、区分7へ移行
1	サージセル・アブソーパープル・ヘメ スタット 332	外用	綿型2.5× 5.1	-	ランカト内用懸濁液2.1%35mL採用のため、削除 ※医薬品としては販売終了 医療機器として販売 医療材料SPDで請求可
1	タリット耳科用液0.3% 132	点耳液	5mL	-	コムレクス耳科用液1.5%採用のため、削除
1	テゼスハイア皮下注210mgリン ジ 229	注射	210mg	劇	テゼスハイア皮下注210mgへん採用のため、削除
1	アベンチンキ 811	内服	-	劇 麻	フェスコ配合皮下注IN採用のため、削除
1	スルピリン注射液250mg「日 医工」 114	注射	250mg	-	フェスコ配合皮下注MA採用のため、削除
1	ニュープロパッチ 116	貼付剤	9mg	劇	エクワイ錠50mg採用のため、区分7へ移行
1	メプチン 225	錠	25μg	-	ケンブラン吸入粉末溶解用100mg採用のため、区分7へ移行
1	キックリン 219	cap	250mg	-	レキビオ皮下注300mgリンジ採用のため、区分7へ移行
1	アリセプト 119	錠	10mg	劇	レケンビ点滴静注200mg採用のため、区分7へ移行
11	アーリーダ錠 429	錠	60mg	毒 ハイスク	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
11	ミッドベリック250腹膜透析液 (排液用バッグ付) 342	腹膜透析	1.5L	-	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
11	一般診断用精製ツベルクリン (PPD) 639	皮内注	-	劇	使用しなくなったため削除
11	スベヒゴ点滴静注 399	注	450mg	劇	使用しなくなったため削除
11	トレプロスト吸入液 219	吸入	1.74mg	劇	使用しなくなったため削除
11	ジムソ膀胱内注入液50% 259	外用	50mL	-	使用しなくなったため削除
11	レギュニールHCa2.5腹膜透析液 UVツインバッグ 342	腹膜透析	1.5L	-	使用しなくなったため削除
11	ビハンセカパセル 117	cap	30mg	劇 覚原 ハイスク	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
11	ヘムライブラ皮下注 634	皮下注	30mg	-	使用しなくなったため削除
11	コンサータ錠 117	錠	18mg 27mg	劇 向 ハイスク	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
11	ツムラ麻子仁丸エキス顆粒 520	顆粒	-	-	使用しなくなったため削除 ※院外専用医薬品として採用あり
11	テリフラチ酢酸塩静注用 722	注	100U	-	使用しなくなったため削除
11	ヘスチンカパセル 429	cap	10mg	ハイスク	使用しなくなったため削除

【4】報告事項

1)緊急使用医薬品の薬剤部長承認について

①緊急使用医薬品(合計2品目)

採用区分	商品名	剤形	規格	区分	薬価	会社名	成分・薬効等
11	ウイアレア配合持続皮下注116	皮下注	ホスレボト <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> 2400mg ホスカルビト <sup>®</sup> ハ <sup>®</sup> 120mg	-	13,277.0	アウイ合同会社	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり
11	メグラーゼ <sup>®</sup> 静注用1000392	静注	1000U	劇	2,674,400.0	大原薬品工業	※臨時採用医薬品(区分⑥)にて申請あり

※緊急使用医薬品は、薬剤部長が申請者に対しヒアリングを行った上で、薬剤部長が決裁を行うこととされています。ただし、継続して使用する場合は、次回の薬事委員会において、採用区分に沿った正式な申請を行うこととなります。

2)自主回収に伴う処方オーダー時停止について

自主回収薬

乾燥弱毒生麻しんワクチン「タケダ」

→ 2024年1月18日処方オーダー時停止

3)供給停止に伴う処方オーダー時停止について

供給停止薬

アドソルビン原末(0.75円/g)

→ 2024年2月13日処方オーダー時停止

イミグラン点鼻液20(509.3円)

→ 2024年2月27日処方オーダー時停止

4)販売中止に伴う代替薬の採用について

販売中止薬

フルボキサミンマレイン酸塩錠25mg「EMEC」(10.1円)

→ フルボキサミンマレイン酸塩錠25mg「アメル」(10.1円)

2024年2月22日切替済

フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「EMEC」(14.3円)

→ フルボキサミンマレイン酸塩錠50mg「アメル」(14.3円)

2024年2月22日切替済

代替薬

5)供給停止解除に伴う処方オーダー再開について

2023年12月28日処方オーダー時停止

→ ジャヌビア錠100mg(164.6円)

2024年3月5日オーダー再開

2023年4月19日処方オーダー時停止

→ ノイロピタン配合錠(5.8円)

2024年3月5日オーダー再開

※取り扱いに注意を要する薬剤について下記区分を記載しています。

麻:麻薬、毒:毒薬、劇:劇薬、向:向精神薬、特生:特定生物由来製品、生:生物由来製品(20年間記録保存が必要な薬剤に限る)、ハリスク:当院における医療安全上注意を要する薬剤

※採用区分(1:常備医薬品、2:救急用医薬品、3:製剤原料用薬品、4:自由診療医薬品(薬価基準非収載医薬品)、5:再生医療等製品、6:臨時採用医薬品、7:院外専用医薬品、8:臨床研究用医薬品、9:特例承認医薬品、10:放射性医薬品、11:緊急使用医薬品)